

## Part2 業務システム連携を成功に導くには 鍵は「導入目的」の明確化

社外から業務システムを使うノートPCの代わりに。そうしたiPadの利用イメージを膨らませている企業も多いだろう。しかし、安易な導入は禁物だ。導入に当たっての留意点を整理する。

社内システムと連携してノートPCで行っていた業務をiPadに置き換えようとする場合、既存端末・システムが業務に深く浸透している分、クリアすべき課題は多くなる。

iPadがいくら優れた端末であっても、ノートPCとはそもそもできることが異なる。また、業務システムとiPadの連携にはインフラ整備や開発に大きなコストがかかる。iPadが活躍できる業務シーンを見極めなければ、コストばかりかかって、却って業務効率を阻害する可能性さえある。

実は、iPadの導入事例が次々と発表される裏で、このような状況に陥っている企業も少なくない。

### 小さく始めて大きく育てる

iPad・iPhoneの導入支援サービス

を9月から開始した日立コンサルティングのグローバルITサービス&ソリューション本部・中西栄子シニアマネージャーは、顧客企業の現状について次のように語る。

「iPadを入れてしまったが、コストに見合った効果を出す方法がわからない、こういった規約、セキュリティポリシーを作ればよいのか、といった問い合わせは非常に多い」

同社のサービスは、業務システムと連携させたiPad活用を支援することに主眼を置いている。こうした目的を持つ企業をターゲットに、ノートPCの役割を見直し、iPad・iPhoneで業務を効率化するための活用方法の策定からシステム構築、さらには端末・アプリの手配から運用サポートまで幅広いサービスメニ

ューを揃えている(図表4)。顧客企業からのニーズに応じて設定したメニューも多いというから、企業の要望が実に多様であることがわかる。

京セラコミュニケーションシステム(KCCS)にも、iPad活用に関する相談・要望が相次いでいるという。常務取締役・ICT事業統括本部の松木憲一副統括本部長は、安易な導入は失敗の元と釘を指す。「顧客接点での活用のように目的がはっきりした場面では生きる」と認めつつも、「ノートPCの置き換えは一部に留まるだろう」と話す。

また、iPadから社内の自席PCを操作できるリモートデスクトップソリューション「持ち出しマイデスク for iPhone & iPad」を提供しているNEC ネットズエスアイ・SI&サービス事業本部ICTソリューション推進本部ソリューション開発グループの湯江明史グループマネージャーも「PCの役割をそのまま代替するのは無理があ

図表4 「iPad/iPhone活用コンサルティングサービス」(日立コンサルティング)のメニュー

活用方法策定			システム構築		その他		
現状調査	方針策定	業務設計	開発	インフラ整備	iPad/iPhoneアプリケーション配付	iPad/iPhone端末手配	運用サポート
ビジネストレンド 他社成功事例 業界動向 現行業務・システム	活用方針 費用対効果 マスタープラン	新業務一覧 新業務フロー	操作画面 連携機能 ビジネスロジック	サーバー ネットワーク セキュリティ	スタンダード プログラム エンタープライズ プログラム	調達 輸配送 契約	問合せ窓口 運用マニュアル トレーニング 活用状況分析

上記8つのメニューから必要なものを組み合わせて利用できる。

出典:日立コンサルティング